

技術・家庭科（技術分野）年間指導計画（第1学年）

授業時数	授業内容	場所	指導項目	学習活動・内容	教科書	時数	評価規準			
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	・技術分野のガイダンス	教室	技術分野のガイダンス	・身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイデアを調べる。 ・技術の発達による生活や産業の変化を調べる。 ・身の回りの製品などを「技術の見方・考え方」の視点で観察する。 ・3学年間の学習内容を確認し、技術分野の学習を生かして、4年後にできるようになっていたいことを内容ごとにまとめる。	P4~11	1			3学年間の技術分野の学習に見直しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	
2	・作業部屋の使用方法 ・教科書の概要 ・ファイル配布 ・技術の歴史（プリント）	木工室	製作の手順			1	身の回りの製品の発展や生活の変化を理解できる。	材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考える。	・日常生活のものが生活をどのように変化させてきたかに関心をもち、調べたり考えたりしようとしている。	
3	・お道具箱の材料配布 ・作業行程の流れ	木工室	作業工程表	・製品の製作をするために必要なことを考える ・作業工程表を考える。		1	・製品を製作するために必要な手順を考え、進んで発表しようとしている。	・効率よく作業が行えるよう手順に工夫が見られる。	・作業の効率について考え、意欲的に制作工程表を仕上げようとしている。	
4	・お道具箱の製作の準備（プリント）	木工室	生活の中での技術の役割		P48・49	1	・製品の構造を理解し、効率的な制作工程表を作成できる。 ・制作工程表を理解し、その内容と使用する工具が説明できる。	・構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身につけている。		
5	・さしがねの使用方法 ・けがき作業①～③	木工室	材料取りけがき用工具の種類や用途	・材料取りけがきと切断作業からなることを知る。 ・さしがねの使い方を調べる。	P50～P53	3	・材料取りけがき行程にはけがきと切断の作業があることを説明できる。 ・教科書の他にも資料集などを活用して調べることができる。		・けがき用工具の種類や用途を自主的に調べようとしている。	
・材料取りけがきと仕上げの必要性に気づき、各自の能力に応じてそれぞれの問題を設定する。 ・自分の製品のけがき作業を行う。				・作業に適したけがき用工具をいえる。 ・さしがねを使用するときの注意点をいえる。 ・仕上げのけがきや材料取りけがきの必要性が説明できる。 ・さしがねを用いて正確にけがきができる。			・自分の技能に応じて、仕上げのけがきと材料取りけがきの間隔を工夫することができる。	・けがき作業を意欲的に取り組もうとしている。		
				・無駄なく材料を使用するために部品の配置を工夫することができる。						
8	・部品の加工説明 ・型紙づくり①②	木工室	正確で能率のよい加工方法	・縦引き用、横引き用の刃のちがいと切断方向による刃の使い分け、あさりの役割を調べる。	P54 P55	5	・両刃のこぎりの特徴が説明できる。	・縦引き用と横引き用の刃の使い分けの理由に気づく。	・切断道具の種類や用途を自主的に調べようとしている。	
9				・のこぎりひきを正確に行うことができる。 ・のこぎりひきの仕方が説明できる。			・のこぎりひきの方法をポイントをしぼって作業できる。	・刃のちがいが共通点を調べ、積極的に発表しようとしている。		
10				・安全に留意してのこぎりひきに取り組んでいる。 ・練習を生かし正しい方法で、正確に部品の切断ができる。				・のこぎりひきの練習に積極的に取り組む態度が見られる。 ・部品の切断を積極的に行う態度が見られる。 ・自分で切断した部品の問題点を探そうとしている。		
13	・部品の加工説明 ・型紙づくり③	木工室	正確で能率のよい加工方法	・製作品のとしての持つ部分を製作する。 ・工作用紙で正確な型紙を製作する。	P62	2	・正確な型紙を製作できる。	自分の手の大きさを考慮したとての部分を製作できる。	・日常生活での使用目的を考慮し、持ち手の形状を積極的に考案している。	
14				・型紙を使用し、製品の曲線部分のけがきが容易にできるような型紙にけがきを行う。			・コンパス、定規等を使って正確に作業している。 ・型紙を利用しけがきを行うと効率よくかつ正確に作業が進むことが説明できる。	・自分のオリジナルの作品を製作するために曲線部分を工夫して作業に取り組んでいる。	・自分のオリジナルの作品ができるよう意欲的に型紙にけがき作業に取り組もうとしている。	
15				・部品の加工説明 ・型紙づくり④			・さしがねや直角定規を使った部品の検査をする。	P59	2	・正確な型紙を製作できる。
16	・部品の加工説明 ・型紙づくり⑤	木工室	正確で能率のよい切断・加工方法	・はんのうやすりを使って、部品の修正ができる。	P58	8	・材料や状況にあった切削加工ができています。 ・工具の特徴や使い方を理解している。	・材料にあわせて、工具を選択し、材料の固定方法などを工夫しながら切削加工を行うことができる。	・自分で見つけた部品の問題点を修正するために意欲的に切削加工に取り組もうとしている。	
17				・卓上ボール盤の使用法を理解し穴あけ作業ができる。	P60		・卓上ボール盤の使用法を理解し、正確な穴あけ作業ができる。	・卓上ボール盤の各部の名称・使用用途などを自主的に調べようとしている。		
18				・糸のこ盤を使用して曲線ひき・切り抜き作業ができる。	P56		・糸のこ盤の使用法を理解し、正確な切り抜き作業ができる。	・糸のこ盤の各部の名称・使用用途などを自主的に調べようとしている。		
23	・修正、検査作業（とての加工①）	木工室	検査と修正	・さしがねや直角定規を使った部品の検査をする。	P59	2		・製作品の形状に応じて、工具の使い分けができる。	・さまざまな工具を主体的に使用しようとしている。	
25	・修正、検査作業（仮組立作業・底板加工作業①②） ・部品の加工説明 ・型紙づくり③	木工室	仮組み立て	・仮組立を行い、加工した部品を配置して、正しく組み立てられるか確かめる。 ・型紙を使用し、製品の接合部分のけがきが容易にできるような型紙にけがきを行う。	P62	4	・設計どおりに部品を配置して、仮の組み合わせることができる。	・仮組み立てを行い、問題点や組み立てる上での注意点を発見し修正方法を指導できる。	・自分の製品を設計どおりに、いかに組み立てようとする意欲が見られる。	
26				・正確な型紙を製作できる。			自分の手の大きさを考慮したとての部分を製作できる。	・日常生活での使用目的を考慮し、持ち手の形状を積極的に考案している。		
28				・修正、検査作業			・工具を用いて、接合部分や部品のずれを検査し、必要に応じて修正することができる。 ・検査の方法や所要する工具が説明できる。	・検査の結果をもとに、修正の方法を考えることができる。	・自分の製品の検査を慎重に行おうとする態度が見られる。	
29	・修正、検査作業（ねじ取り付け位置に貫通穴をあける）	木工室	卓上ボール盤の使用法	・卓上ボール盤の使用法を理解し穴あけ作業ができる。	P60	2	・卓上ボール盤の使用法を理解し、正確な穴あけ作業ができる。		・卓上ボール盤の各部の名称・使用用途などを自主的に調べようとしている。	
30	・修正、検査作業（ねじ取り付け位置に止まり穴をあける）	木工室		・卓上ボール盤の使用法を理解し止まり穴あけ作業ができる。						
31	・組み立て作業①②	木工室	組み立て	・ねじ結合、接着剤を使った結合	P64・65	2	・設計どおりに部品を配置して、組み合わせることができる。	・合理的な組み立ての順序を考え工夫している。	・製品の組み立てをいかに進めようとしている。	
33	・仕上げ作業①	木工室	塗装	・各自の製品の素地みがきを行う。	P66	3	・素地みがきのためのやすりがけを適切に行うことができる。 ・素地みがきの意味を説明できる。	・表面がむらなくつるつるなるように紙やすりを選択している。	・素地みがきによってどのような効果があるか関心をもち、進んで発表しようとしている。	
34	・仕上げ作業②	木工室		・製品に塗装が及ぼす効果について気づかせる。 ・各自の製品の塗装を行う。			P67	・塗装や表面処理の意義について説明できる。 ・塗装の手順を説明できる。 ・各自の製品に対して美しい塗装が行える。 ・はけ塗りの方が説明できる。	・均一にやすりがけができるように木片などに紙やすりを巻いている。 ・製品の使用条件、塗料の特徴などを考えながら、適切な塗料や塗装方法を選択できる。	・塗装によってどのような効果があるか関心をもち、進んで発表しようとしている。 ・塗装面の仕上げをよくしようとしている。
35	・仕上げ作業③	木工室						・作業台や床を汚さないためふきをしいる。	・塗装作業に積極的に取り組んでいる。	

授業時数合計

35